



若き誇り いのち輝く 仁多中学校

擽けやき



仁多中ブログです

奥出雲町立仁多中学校  
令和8年5月22日  
校長 星野 寿幸

## 交通安全教室（4月21日）

雲南警察署三成交番、奥出雲交通から講師をお招きして交通安全教室を行いました。三成交番からは、今年度からルールが変更になった自転車の乗り方について詳しく話をいただきました。奥出雲交通からは、バス乗車中のマナーなどについて話を聞きました。その後、バス通学生は、グリーンベルトに移動して実際に非常ボタンを押したり、非常口から脱出したりする訓練を行いました。徒歩通学生は、通学班会を行いました。今年度から、仁多小学校の児童もバス通学となり、これまでのバス通学とは車内の様子が違っています。小学生のよき手本としてルールとマナーを守って安全に通学してほしいと思います。



交通安全教室（4月21日）

## 生徒総会（4月28日）

前期の生徒会活動と予算について審議する生徒総会がランチルームで行われました。前期の活動について、執行部と6つの委員会から計画が示されました。各委員会の活動について、事前に開かれた学級生徒会で出された要望や意見を中央委員が質問しました。各学級から出された意見は、今後の活動のヒントになるようなものがいくつもありました。その後、執行部から今年度の予算案が示されました。前期の活動計画と予算案が承認され、仁多中学校前期生徒会活動が本格的に始動しました。

全校生徒一人ひとりが自分に任せられた役割を果たして、生徒会テーマ「勇進」の実現を目指して欲しいと思います。



## 3年生 遠足（5月1日）

5月1日に3年生は広島市の安佐動物公園に遠足に出かけました。この日は、朝からあいにくの雨模様で気温も低く、予定通りの活動ができるかどうか心配しました。動物園に着くとだんだんと天候が回復し、園内の見学や予定していたレクリエーションを行うことができました。中央委員を中心に、事前にレクリエーションの計画



を立てたり、安佐動物公園を紹介するYouTube動画を視聴したりして、遠足の準備を進めていました。

遠足から帰ってきた3年生に感想を聞くと、「レッサーパンダがかわいかった」、「シフゾウは、ゾウと名前がついているけど見た目はシカでした」などと様々な感想を聞くことができました。遠足について話す様子から、楽しい遠足だったことが伝わってきました。3年生にとって、中学校生活の思い出の1ページになったことと思います。

## 1年生 学年レクリエーション（5月1日）

互いの仲を深める活動の一つとして学年レクリエーションが企画されました。学年部副担任による椅子の代わりに小さく切った段ボールを使ったフープバスケット、中央委員の発案による学級対抗ロープジャンプとドッチビーの3つのレクリエーションを行いました。歓声とたくさんの笑顔があふれる楽しい時間になりました。

1年生は、仁多中学校に入学して1か月半あまりが過ぎました。新しい友達も増え、中学校生活にも慣れて、いきいきと活動する姿がたくさん見られます。これから、いろいろな活動を通して、より一層絆を深め、1年生のカラーを創って欲しいと思います。



## 授業公開&PTA 総会（5月9日）

今年度最初の授業公開が5月9日に行われました。9つのある学級では、担任が授業を公開しました。中には、初めての学級担任で、授業公開も初めてという教員もいました。少し緊張しながら授業をする先生と、先生の緊張を和らげようと頑張る生徒と、その様子を温かく見守ってくださる保護者の方と、とても温かな雰囲気の授業となりました。他の学級でも、たくさんの保護者の方が教室に足を運んでくださり、生徒たちは張り切って学習していました。



授業公開後の PTA 総会にもたくさんの保護者の方が参加してくださいました。仁多中学校の保護者の方の教育活動への関心の高さを改めて感じる場となりました。その後、学年 PTA、部活動保護者会、部活動見学が行われ、盛りだくさんの一日でした。参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

## 読み語り（5月8日）

今年度の読み語り、5月8日からスタートしました。原則、毎週金曜日の朝読書の時間は、読み読みの時間です。初回は、5人の図書ボランティアと図書館司書が読み語りをしてくださいました。今後は、教職員も読み語りを行う予定です。

読み語りに耳を傾け、物語の世界に浸っている姿が、各教室で見られました。小学校での読み語りは珍しくありませんが、中学校での読み語りはあまり聞いたことがありません。とてもよい取組だと感じました。

5名の図書ボランティアの皆さん、今年一年間、よろしくお祈りいたします。



## 花壇作業

仁多中学校には、Y 字の登校路、昇降口前、職員室裏などに花壇や畑がたくさんあります。それらは、レインボーチームや園芸部が中心になってお世話をしています。

昇降口前の花壇では、チューリップの球根を掘り出して陰干し、マリーゴールドを植える準備が進んでいます。職員室裏の畑では、イチゴの実が赤く色づき、ジャガイモの葉がぐんぐん大きくなっています。トマトやなすびといった夏野菜を植える時期がやってきました。

これらの作業を支えてくださっているのが、「やまこ会」の皆さんです。部活動の時間に園芸部と一緒に活動して花の世話などについてアドバイスして下さったり、畑を耕して下さったりと、たくさんのサポートを受けています

やまこ会の皆様、いつもサポートありがとうございます。

保護者の皆様も、学校に足を運ばれる機会があれば、花壇や畑の様子を見ていただけたらと思います。



## 「生徒宣言」

昇降口前のピロティーに「生徒宣言」があることをご存じでしょうか。本校の卒業生の方はご存じの方が多くと思いますが、これは平成7年に当時の頭髪規定全面排除をきっかけにつくられたものです。その内容は、次のようなものです。

- 生徒一人ひとりの手によって仁多中学校の将来が創りあげられていくことに希望と強い責任を感じ、今後自分で自主的に判断でき、広い視野に立つてものごとを考えられる生徒をめざすこと。
- 自分達に任せられることに誇りをもって、これからの仁多中を「誰もが安心でき、気持ちよい、充実した生活を送れる学校」という新しい校風を加え、我々生徒自ら、より一層高いレベルの学校生活を創り出していくこと。

改めて、生徒宣言を読み返すと、そこに込められた理念は現在の教育にも合致するものだと感じます。生徒宣言から30年以上たった今でも紆余曲折を経ながら、仁多中学校の文化としてその理念は脈々と受け継がれています。この宣言は、仁多中学校の財産であり、宝物であると思っています。

今、仁多中学校は良い学校だと多くの方が言ってくださいます。だからこそ、さらに良い学校生活を創り出す好機だと思います。その際の指針として「生徒宣言」を活用したいと思います。「誰もが安心でき、気持ちよい、充実した生活を送れる学校」を目指し、「生徒たちが自分たちに任せられことに誇りをもって」学校生活を送り、「より一層レベルの高い学校」を創り上げることを目指したいと思います。まずは、より一層レベルの高い学校とはどのような学校なのかを生徒と共に考え、その実現に必要な活動を明らかにして、少しずつ取組を進めていきたいと思っています。

